

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、上記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☐なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☐なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☐なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成27年 6 月 11 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成27年 6 月 11日

患者氏名

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で受襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するため動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与に行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせください。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、上記の患者様には慎重に投与することとされており、造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☒なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☒なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 6 月 19 日

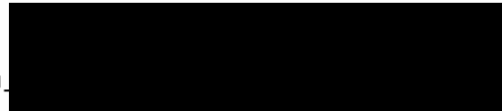
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 堀沢 忍 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 6 月 19 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____

続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

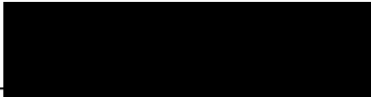
平成27年 7 月 10 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 遠矢一寛 (印)

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成27年 7 月 10 日

患者氏名  _____

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのはなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの体重に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分とされております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女生の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 7 月 16 日

東邦大学医療センター 大森病院 消化器内科

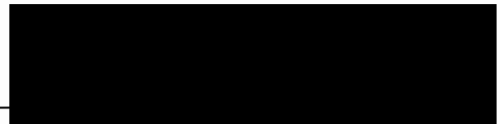
説明医師 塩沢一馬



私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 7 月 16 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター人森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者、主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 8 月 18 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 増沢一男 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 8 月 18 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されています。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 8 月 22 日

更邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 塩入 一 恵 

私は 医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 8 月 22 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____

続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがありますが、いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性がありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報とは発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 3 月 24 日

東邦大学医療センター 大森病院 消化器内科

説明医師 堀 次一 郎 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 3 月 24 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口のゆき・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報とは発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 11 月 5 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

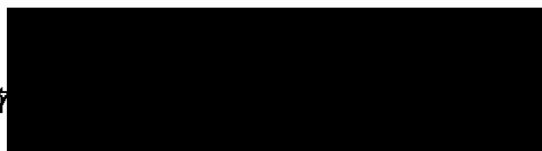
説明医師 塩久一 忍



私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 11 月 5 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また胸部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.013ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発熱・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、上記の患者様には慎重に投与する」ととされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐ はい ☒ ない

※重篤な心疾患のある方 ☐ はい ☒ ない

※重篤な肺疾患のある方 ☐ はい ☒ ない

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐ はい ☐ なし

現在授乳中ですか？ ☐ はい ☐ なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 6 月 4 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 橋次一恵 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 6 月 4 日

患者氏名 

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液内の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発熱・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☐なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☐なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☐なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報とは表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成27年 11 月 4 日

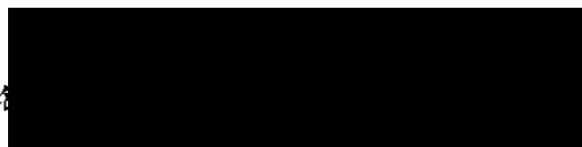
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 堀次一 患 (印)

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成27年 11 月 4 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意・ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐ はい ☒ なし

※重篤な心疾患のある方 ☐ はい ☒ なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐ はい ☒ なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐ はい ☐ なし

現在授乳中ですか？ ☐ はい ☐ なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成27年 11月 1 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 塩沢 一孝 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成27年 11月 1 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報とは発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成27年 11 月 5 日

東邦大学医療センター 大森病院 消化器内科

説明医師 堀江 一 晃



私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 11 月 5 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 総柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発熱・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成27年11月12日

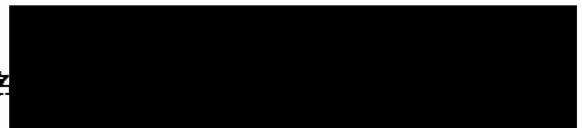
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 堀沢 晃 (印)

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成27年11月12日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※肝アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報 は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。


平成 27 年 11 月 12 日

東邦大学医療センター人森病院 消化器内科

説明医師 土田 一 郎 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 11 月 12 日

患者氏名 

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適心外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 11 月 15 日

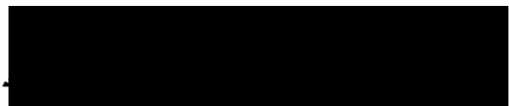
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 湯沢 一 郎 印

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 11 月 15 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがありますが、いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、上記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐ はい ☒ なし

※重篤な心疾患のある方 ☐ はい ☒ なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐ はい ☒ なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐ はい ☐ なし

現在授乳中ですか？ ☐ はい ☐ なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報とは発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 11 月 19 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 橋本 一 郎 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 11 月 19 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____

親柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015m/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、上記の患者様には慎重に投与することとされており、造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☐なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☐なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☐なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 12 月 20 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 塩坂 一孝



私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 12 月 20 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状態を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は明示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、ト胸・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☐なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☐なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☐なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性がありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります、その際、氏名など個人情報には発表せず、プラノバナーの守秘義務は遵守いたします。


平成 27 年 8 月 22 日

東邦大学医療センタ 大森病院 消化器内科

説明医師 塩沢 一 忠 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 8 月 22 日

患者氏名 

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☒なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☒なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報 は 発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 27 年 7 月 28 日

更邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 増次一恵



私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 27 年 7 月 28 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状態を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。


平成 28 年 1 月 10 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 堀 久一 郎 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 1 月 10 日

患者氏名  _____

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 / 月 / 6 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 塩沢 一恵 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 / 月 / 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため本への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☒なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☒なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 / 月 2 / 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 増次一徳 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 / 月 2 / 日

患者氏名



親族または代理人氏名

____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☐なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☐なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☐なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性がありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 2 月 4 日

東邦大学医療センタ -大森病院 消化器内科

說明醫師 趙一愚 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 2 月 4 日

患者氏名

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の内の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐ はい ☒ なし

※重篤な心疾患のある方 ☐ はい ☒ なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐ はい ☒ なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐ はい ☐ なし

現在授乳中ですか？ ☐ はい ☐ なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 2 月 18 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 増沢 一恵 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 2 月 18 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされており、造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報 は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 2 月 20 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 堀江 一寛 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 2 月 20 日

患者氏名 

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報とは発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 3 月 10 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 塩入 一恵 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 12 月 16 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

東邦大学医療センター大森病院 病院医殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。


平成 28 年 3 月 15 日

東京大学医療センター人森病院 消化器内科

説明医師 湯沢 一穂 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 3 月 15 日

患者氏名 

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっておりますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☐なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☐なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☐なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 3 月 26 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 塩沢 一恵



私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 3 月 26 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

(医療機関控)

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされており、造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> なし
※重篤な心疾患のある方	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> なし
※重篤な肺疾患のある方	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 4 月 26 日

東邦大学医療センター 大森病院 消化器内科

説明医師 塩沢 一恵 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 4 月 26 日

患者氏名



親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性ありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報は発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 5 月 24 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 湯沢 一 恵 

私は、医師から経動脈造影における造影超音波検査についての必要性と危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 5 月 24 日

患者氏名 

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行いますが、肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管撮影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・尿中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、上記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ

現在妊娠中、または妊娠の可能性がりますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

平成 28 年 7 月 24 日

東邦大学医療センター・大森病院 消化器内科

説明医師 愚一 愼 

私は、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受ける、と同意いたします。

平成 28 年 7 月 24 日

患者氏名

親族または代理人氏名 続柄()

東邦大学医療センター大森病院 病院長殿

説明・同意書（造影超音波検査）

①造影超音波検査について：超音波検査は超音波を使って体の中の構造や病変を調べる検査で侵襲が少なく安全性の高い検査です。今回の検査では、より詳しく病変の状況を把握するために超音波検査用の造影剤（ソナゾイド）を使用して検査を行います。通常の造影超音波検査ではソナゾイドを静脈内に注射して検査を行います。肝内の病変およびその周囲臓器への影響などをさらに詳しく評価するために動脈内に注射して検査を行い、よりよい診断・治療へと結びつくことを目標とします。

この際、直接動脈に注射針を刺して注入するのではなく、リザーバーポートが留置されている場合はリザーバーポートから、また腹部血管造影検査中に造影超音波検査を施行する場合は留置されているカテーテルから投与します。

動脈への直接投与は動物実験で通常の静脈内投与よりもソナゾイドの血液中の濃度が高くなると報告され、一般的には適応外となっていますが、静脈内投与ではソナゾイドを0.015ml/kgまたは0.5mlの使用に対して、動脈内に投与する場合はソナゾイド0.5mlを生理食塩水20mlで希釈し、そのうちのごく少量を使用するため体への負担は静脈内投与と概ね同等であると判断します。当院以外の施設においてもソナゾイドの動脈内投与は行われており、安全性は十分示されております。

②造影剤の投与に関する注意：ソナゾイドを注射した時、0.1～5%ほどの患者様に、下痢・頭痛・蛋白尿・好中球減少・発疹・口の渇き・注射部位の痛みなどがみられることがあります。いずれも一時的で、現在のところ造影剤による重篤な副作用は報告されていません。これらの症状があれば検査担当者・主治医へお知らせ下さい。

ソナゾイドは他の造影剤とは成分が異なり非常に安全な造影剤ですが、下記の患者様には慎重に投与することとされております。造影超音波検査を安全に行うために質問にお答え願います。

※卵アレルギーのある方 ☐はい ☒なし

※重篤な心疾患のある方 ☐はい ☒なし

※重篤な肺疾患のある方 ☐はい ☒なし

※女性の方のみへ


現在妊娠中、または妊娠の可能性はありますか？ ☐はい ☐なし

現在授乳中ですか？ ☐はい ☐なし

診断のために用いた画像の記録の一部を学会や学術論文などに使用することがあります。その際、氏名など個人情報には発表せず、プライバシーの守秘義務は遵守いたします。

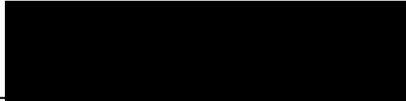
平成 28 年 9 月 10 日

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

説明医師 塩沢 一恵 

私に、医師から経動脈投与における造影超音波検査についての必要性和危険性の説明を受け理解しましたので、検査を受けることに同意いたします。

平成 28 年 9 月 10 日

患者氏名 

親族または代理人氏名 _____ 続柄 ()